

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月28日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あろは

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	適切なスペースを確保し、ワンフロアですが、広く使えるように工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	人員基準を遵守し日々配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	児童一人ひとりに合わせた個別療育を行っており、特性に応じて環境設定も行っています。トイレには段差がありますが、常に指導員が付き安全に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	サービス終了時には床、ドア等の消毒や児童が使用した知育玩具もひとつずつ消毒を行い衛生面に気を付けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	64%	50%	0%	職員全員が日々の業務改善策を考え全員で共有しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者に評価表を配布し、意向等の把握を行っています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	93%	0%	7%	法人本部総合政策業務監査部に提出し、自己評価の改善部分や関西事業本部ホームページにて公開しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	21%	64%	15%	令和5年度は有識者による第三者委員会の評価を行い、法人全体で業務改善に取り組んでいます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	毎月行っている内部研修と個人のスキルアップのための外部研修に参加し、費用負担を行っています。	
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	ニーズや課題を職員間で話し合い、計画を作成しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%	定型発達児が年齢に合わせてできる事を指標にしているポータージブプログラムをアセスメントツールとして活用し、できること、できないこと等、保護者と情報共有しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	発達支援は、5領域(社会性、認知、言語、運動、身辺自立)に準じて設定しています。家族と共に発達段階を踏まえた困りごと等を一緒に検討しています。児童が所属している園への訪問を行うなど情報共有し支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	機能訓練担当者と共に支援方法を検討し、支援計画に添った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	個別課題の立案は言語聴覚士を中心に職員全員で行っています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	日々成長していく過程を観察し、児童のスキルに合わせたプログラムを立案しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるなど、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	個別課題のみではなく、小集団活動を取り入れるなど、子どもの状況に合わせて組み合わせた計画を立てています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	支援前、支援中も支援方法を話し合い適切な支援ができるように役割を決めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	課題に対する取り組み方、達成度など気づいた部分等を共有し、必ず記録しています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	93%	0%	0%	日々の課題が適切かどうか検討し、話し合い記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	86%	0%	0%	保護者の意向を見直しています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	79%	0%	21%		相談支援事業所を利用している利用者がいません。利用中のほとんどの児童がセルフプランで利用しているため、サービス担当者会議はほとんど開催がなく内部担当者会議を行っています。今後、必要な場合は責任者が参画します
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	21%	0%	79%	保育園や幼稚園等、児童が所属している部署と連携を行っています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	64%	21%	15%		医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	21%	79%		医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	児童の通所している幼稚園、保育園、こども園等を訪問して情報の共有と相互理解を深めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	71%	29%		今後はできる限り対応し、相互理解を図っていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	0%	14%	豊中市が行っているペアレントトレーニングや事業者連絡会が開催している研修会、発達支援センターでの見学も参加させて頂いています	他事業所や専門機関と連携を行い、助言や研修も今後検討してまいります
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	71%	29%	園との交流はあるが、障がいのない子どもたちとの活動はありません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0%	64%	36%		通所支援事業者の連絡会には参加しているが、今後協議会等にも参加していきたいと考えています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	発達の状況や課題について、日々共有できるように連絡帳に細かく記入し送迎時にも共有できるように話をしています。送迎時に添乗の指導員からその日の取り組みや評価を伝えていきます。必要な場合には、保護者に来所してもらい状況を確認してもらっています	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	71%	29%	職員が豊中市主催のペアレント・トレーニング講習に参加し、保護者に対して講習会を実施しています。	日時の設定など、より多くの保護者が参加できるように工夫してまいります。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約締結時に運営規程、重要事項説明書、代理受領、負担額などについて納得されるまで丁寧に説明を行っています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%	5領域(認知、社会性、言語、身辺自立、運動等)の説明を行い、必要な支援を検討し内容を説明して同意を得ています。		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	保護者が来所や送迎の際に相談したいと希望された場合に、事業所に来ていただき専門職員が悩みを解決できるよう助言や支援を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	71%	29%	父母の会や保護者会 は開催できなかった が、ペアレント・トレー ニングを通して保護者 同士の交流を行えるよ うにしました。	コロナ感染症の影響でできてい なかったが、今後は連携を深めてい けるような開催を目標とします
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	86%	0%	14%	相談については常に受 け入れる体制を整え、 児童に関する日常・発 達のことについての相 談には適宜対応してい ます	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	0%	64%	36%	会報などは発行してい ませんが、活動の様子 を個別で写真に撮り保 護者へお渡しして様子 をお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	0%	個人情報を記載した書 等は必ず鍵のできる書 庫に保管し、施錠確認 を徹底して行っていま す。職員には個人情報 保護に対する誓約書を 提出してもらっています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	コミュニケーション方法 を言語だけではなく、視 覚支援や他のツールも 使用して行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	0%	79%	21%		コロナ禍の現状では難しいが今後は 地域と関わりを図っていきたくと思 います
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	93%	7%	0%	各マニュアルの策定は できています。定期的 に研修で使用し、確認 を行っています。	最新の情報を確認するよう心がけ、マ ニュアルの見直しや更新を行い、職 員、保護者間での情報共有を行って いきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	BCP計画を作成、避難 訓練については年2回、 (火災・地震)定期的に 実施しています。	災害、緊急事態発生時に備えBCP計 画(事業継続計画)を作成していま す。職員のみではなく、保護者への周 知徹底を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	100%	0%	0%	アセスメント時に必ず聞 き取りをし、てんかん発 作等については、状況 を確認してかかりつけ 医に連絡できるようにし ています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	0%	64%	36%		おやつや食事の提供はしていませ ん。現在、医師の指示書が必要 な児童の利用はありません が、利用時には対応していきま す。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	100%	0%	0%	記録を必ず行い、 ミーティングで共有し ている。記録をファイ リングし、いつでも職 員が目を通せるよう にしています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	虐待防止委員会を3か 月に1回行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	0%	身体拘束適正化委員会で話し合い、支援計画書に記載、同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。